

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援ハウスかるがも（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和6年12月24日		～ 令和7年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	令和6年12月24日		～ 令和7年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月10日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多職種連携における個々の特性に応じた支援を行っている（5領域の視点を踏まえた本人の強みを生かせる活動の提供・丁寧なアセスメント）	・こどもが様々な活動や環境に触れながら達成した喜びや満足感を感じる遊びの提供 ・個別に丁寧に関わり応答的なやり取りを行う中で、職員との信頼関係・愛着関係を築きながらより意欲的な活動参加を展開できるようにしている	・遊びの展開と内容の充実 ・更なるアタッチメント支援 ・多職種連携 ・支援者のスキルアップ
2	・家族支援（親子通所・きょうだい児支援・保護者研修・ペアレントトレーニング・個別相談）	・定期的なペアレントトレーニング ・個別相談 ・専門職を介しての保護者支援 ・保護者同士のネットワーク作り	・相談支援のスキルアップ ・専門職介入に関する事前研修
3	・各関係機関との連携（相談支援事業所・保育園・幼稚園・小学校・保健センター）	・以降に向けた支援（生活動作の獲得・コミュニケーション等） ・以降に際しての丁寧なアセスメントと個別面談	・相談支援事業所・保育園・幼稚園・小学校・保健センターとの信頼関係の構築

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・支援スキルの課題や改善等を踏まえた事業所全体のスキルアップ（現状に対して常に課題意識を持ちながら多様面（安全・衛生・対人）でのスキルアップや運営の充実化を図りながら取り組んでいく）	・支援者同士がコミュニケーションをより深めながら様々な研修や視察に行くことで、施設職員全体の自己研鑽に繋がるようにしていくことが必要である	・これまでのとおり現状の支援スキルに対して常に再検討をしながら必要な環境や知識を更新していく必要がある
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援ハウスかるがも(児童発達支援)					公表日	令和7年2月19日	
		利用児童数	24		回収数	23		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	0	0	0	大型ピアノに子ども達が乗ったり走ってぶつかるなど、危険な場合がある	ピアノの場所に関して再度検討して配慮していきたいと思います。また、事故怪我のないように配慮していきたいです。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23	0	0	0	手厚く対応している	職員配置について国の指定基準に則り、配置しております。こどもの状況に合わせて手厚く配置するように配慮しております
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	0	0	0		生活空間への配慮として、活動と部屋の場所を分離するなどの配慮してしております
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	0	0	0	いつもきれいで清潔な環境になっている	毎日の消毒・清掃に加え、安全点検もこまめに行っております
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	0	0	0		個々のニーズに合わせた丁寧な支援を行っております。子ども達が楽しみながら生活スキルやコミュニケーションスキルを獲得できるように配慮しています
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	0	0	0		支援プログラムの内容を踏まえた支援の実施に努めています
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	23	0	0	0		アセスメントを丁寧に行いながら本人や保護者の意向を確認して事業所内での共有・検討を重ねた上で支援計画を作成しております
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	0	0	1		個別支援計画では、「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」の内容について保護者説明のもと具体的に支援が行われるようにしています
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	1	0	0	年齢ごとのクラス分けが必要だと感じる。就学前は専門性を高めた活動を行ってほしい。	活動内容に関しての具体的な説明や意図を保護者に丁寧に伝えていきます。月齢や発達段階に合わせた活動提供を行っております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	0	1	0	季節や能力に合わせた活動を提供して下さり、充実している。	子ども達意欲的に活動へ取り組むことができるように配慮しています。また、季節に合わせた内容への配慮を行っております
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	17	2	1	3		地域の子ども達との交流や保育所や認定こども園、幼稚園等の交流を積極的に図ることができるようにしていきます
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	0	0	0		口頭説明と書面での説明を行い、同意をいただきました。ご協力ありがとうございます
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	0	0	1		計画に沿いながら個別に配慮しています
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	0	0	0	・色々な学びや気付き、意見交換ができる場となっている。 ・参考になるテーマであり、子育てに役立っている。	定期的なペアレントトレーニングでは今年度たくさんのご参加をいただきました。また、ご夫婦での参加も多く見られました。今後も継続していきたいです
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	23	0	0	0		定期的な個別面談や相談を受けられるようにしています。お子さまの健康や発達状況を丁寧にお伝えできるように今後も努めてまいります
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	4	0	3	・きょうだい向けのイベントはまだ一度しか参加した事がない。 ・兄弟向けのイベントがあると嬉しい。	きょうだい児についての細やかな説明を行いながら、きょうだい児に向けてのケアも充実していけるようにしていきます
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	0	0	1		常に相談に対応出来るように心掛けています。また、施設側からできるだけ細やかなケアが行えるようにお声掛けして面談を実施できるように配慮しております。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	1	1	1		定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等を行っております。今後も周知しながら継続していきます
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	1	1	0	ホームページの活動写真で親子の顔が掲載されていたり、制服で圖がわかるようになっていくことが気になる。	個人情報の取扱いについては、保護者の同意のもと(書面にて個人情報と肖像権についての同意とサインを頂いております)厳重に行っております。活動の様子を知りたい方と控えた方の意向のバランスを検討しながら今度のホームページ写真の在り方を検討していきたいと考えております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	3		3		1階玄関の掲示板や保護者閲覧用がご用意されています。今後も全体周知に努めて参ります
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20			3		月に1回の避難訓練(子ども達と合同)を行い、有事に備えております
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	2				非常災害対策について保護者閲覧用資料を1階玄関に設置しております。全体周知に努めて参ります
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22			1		事故・怪我において迅速な対応が行えるように体制を整えております
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23				とても楽しそうに通所している。かるがもの製作物を持ち帰ってくると、嬉しそうに見せてくれ自宅でも遊んでいる。	安心感を持ちながら通所して下さる回答に嬉しく感じております。今後も子ども達や保護者の皆さまが安心出来る環境や取り組みを行って参ります
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	1		2		今後も子ども達が喜び笑顔で通所出来るように職員一同努めて参ります
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	1			・かるがもへいくと心が落ち着く。 ・今年度は活動内容に少し物足りなさを感じた。	多くのご回答ありがとうございました。今回の保護者の皆様からいただきましたご意見をもとに今後も適正な運営に努めて参ります。また、様々な場面で保護者の皆さまのご理解とご協力を沢山頂きました。心より感謝申し上げます

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援ハウスかるがも(児童発達支援)		公表日 令和7年 2月 19日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		子ども達が伸び伸びと活動を取り組むことができるように場面に合わせた環境配慮を行っています	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		職員の配置は国の基準に則り適正な運営を行っています。また、個人に合わせて手厚く配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		障害の特性に合わせた配慮や、手すりの設置など環境上の配慮に努めています	危険な設置物がある場合には移動なども含めて再検討を行う
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		日々の消毒や清掃に加えて、安全点検を行い子ども達が心地よく過ごせる環境を整えています	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		個別の部屋を情緒面や体調に合わせて使い分けが行えるようにしています	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		目標設定と振り返りを職員揃って丁寧に行うようにしています。また、互いに気付いた点や今後の対応方法についても意見交換しながら計画的に進めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		今年度は外部研修に計8回参加し、内容についても全職員で共有し支援の資質向上に努めています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		支援計画会議を行い、職員間で情報共有したうえで丁寧に計画を作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		季節ごとの行事を取り入れたりと子ども達が主体となり楽しめるように活動を計画しています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前に必ず打合せを行い活動の目的や流れを共有しています。また、チームで連携して支援しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		活動終了後には必ず振り返りの会議を行い次の活動への配慮を共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		子ども1人ひとり、個別の記録を毎日行いながら、時系列で支援内容を検証・改善しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		各関係機関との連携を丁寧に行い、インクルージョン推進の観点から支援を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答)	○			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	○			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			
	31	(31は、事業所のみ回答)	○			定期的な地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じて相談・援助を頂きながら運営しています。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレントトレーニングの年間計画を策定し、コアエレメントに基づいた内容を実施してきました。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○				
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		随時保護者からの相談に応じることができるように体制を整えています。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		ペアレントトレーニングを実施しながら、保護者の交流の場を設けるようにしています。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月、おたよりの発行を行い活動の概要や予定を発信しています。またホームページで活動の内容を掲載して細やかに伝えています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取扱いについては職員が研修を通して十分に配慮し、意識的に日々行動をとるようにしております。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		1階掲示板に非常災害対策についての書面や緊急時対応マニュアルについての掲示を行っています。	それぞれの事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し職員は定期的な訓練や研修を行っています。保護者により広く周知できるように配慮してまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		月に一度の避難訓練と定期的な業務継続計画（BCP）に合わせた研修を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		施設内の安全点検を定期的に行い、事故・怪我の予防に努めています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		全職員が障害者虐待防止研修に参加できるようにしています。また、施設内研修を定期的に行い、メンタルヘルスの管理にも努めています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○				

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援ハウスかるがも(保育所等訪問支援)			
○保護者評価実施期間	令和6年12月24日		～	令和7年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	令和6年12月24日		～	令和7年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○訪問先施設評価実施期間	令和6年12月24日		～	令和7年2月10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	2
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多職種連携における個々の特性に応じた支援を行っている (5領域の視点を踏まえた本人の強みを生かせる活動の配慮・丁寧なアセスメント)	・本人が安心出来る環境の配慮 ・実状の把握 ・直接的支援を入れることにより現場のスタッフの方々との実践的な共通理解を深めている	・5領域の視点を踏まえたアセスメント ・多職種連携 ・支援者のスキルアップ
2	・家族のニーズに合わせた相談援助 (集団への参加状況の把握・不安軽減・支援の方向性についての共通理解)	・現在の集団活動の実態を把握 ・保護者、支援者間の支援の方向性の確認 ・保護者の不安軽減について細やかな相談ケア	・5領域の視点を踏まえたアセスメント ・保護者との信頼関係を築く ・相談支援についての支援者のスキルアップ
3	・訪問先のニーズに応じた相談援助・連携 (訪問先のスタッフへの助言やアドバイス・不安軽減・状況把握)	・訪問先のスタッフとの信頼関係作り ・集団生活の実態についての共通理解 ・支援の方向性や、方法などの共有	・相談援助・相談支援についての支援者のスキルアップ ・関係機関との信頼関係作り

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・より計画的にニーズに応じた訪問支援計画を策定し、実施していく	・計画的なスケジュールの調整 ・訪問先との連携 ・訪問時の活動内容に合わせた事前配慮	・事前に訪問先との連携を密に行い、活動内容の把握や事前配慮について当事業所にてしっかりと準備・配慮していく
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援ハウスかるがも(保育所等訪問支援)					公表日	令和7年2月19日		
					利用児童数	17		回収数	16
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	12			4		個々のお子さまの実態に合わせて当施設で実際に使用している材料をご準備します。また、事前に訪問施設との話し合いを行い必要に合わせて環境を整えています。		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	16							
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	16							
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	14	2			訪問日について事前に分からないが、特に不満はない。	事前調整を心掛けております。訪問先の都合上、急な日程調整もありますので、連携に努めて参ります。		
適切な支援の提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	16							
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16				保育園での様子を知る機会となり、有難く必要性を感じている。			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16							
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	14							
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13				3	「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容を行っていることを保護者に理解をしていただけるように職員一同丁寧に説明を行います。		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16							
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	16							
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16							
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15			1		保育所等訪問支援計画を保護者の皆さまへ同意のもと支援を行っております。今後も、支援の質の向上に努めてまいります。		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	15			1		年間を通してペアレントトレーニングを実施しております。令和7年度は全16回のペアレントトレーニングを行いました。		
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	16							
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	1			ペアレントトレーニングや親子通園、連絡帳等で相談をしている。	定期的に訪問の報告も合わせて面談を行っております。今後も保護者との連携を大切にしていきたいと思います。		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16							
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16					・保育園でのトラブルで相談し、すぐに対応してもらえて嬉しかった。 ・言葉の相談会のような相談日が定期的開催され、希望の有無があると良い。		
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16							
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	14	1		1		訪問先と信頼関係を築き、しっかりと連携を図って参ります。また、子ども達の支援がより深まるように努めます。			

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	13			3		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	16				・保育園の様子を細かく説明してもらっている。 ・保育園の様子を知ることができる良い支援だと思 う。	
非 常 時 等 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	1	1	2	通信やHP、SNSでの発信は特に必要ないので今までのままで良い。	保育所等訪問に関する活動概要については、訪問先のお子さまの肖像権や個人情報を遵守しながら丁寧に発信しております。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	13					
満 足 度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15					
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	15					
	28	事業所の支援に満足していますか。	16				支援実施までの流れや進捗状況が分かる と、より良いと思う。	支援実施の流れや進捗状況につきまして皆さまにより丁寧に伝えて参りたいと思います。皆さまの貴重なご意見ありがとうございました。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 令和7年2月19日				
児童発達支援ハウスかるがも(保育所等訪問支援)		利用先 4 回収数 2				
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2	0	0	助言や説明があると訪問側としても有り難い。	日頃より、かるがもの取り組みにご理解とご協力をいただきありがとうございます。今後も丁寧に分かりやすい説明や助言を目指してまいります。	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2	0	0	子ども達の様子を聞いてくれるので、一緒に対応を考えることができ嬉しい。	支援に対する知識や技術等に満足していただけるように今後も施設内で自己研鑽を行ってまいります。	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	2	0	0	質問をすると一緒に考えたりアドバイスを貰える。	一緒に考える場面では、私たちが学びになり、様々な支援のヒントとなることがあります。今後も連携をとりながら丁寧な支援を目指します。	
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2	0	0	子ども達の様子が安定していると感じている。	子ども達を長期的に支援をしながら行動面や情緒面が変化していくことを一緒に共感していけることに感謝しております。	
5 事業所からの支援に満足していますか。	2	0	0	直接支援をもらうことがあり学びになる。感謝している。	いつもありがとうございます。今後も丁寧に心掛けてまいります。	
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
				子ども達を取りまく環境を含め、共に支援をする方々が手を取り合い、連携を重ねて支援を行えることに感謝しております。今後も、連携を図り丁寧な対応を行ってまいります。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援ハウスかるがも(保育所等訪問支援)		公表日		令和7年 2月 19日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境 制 運 営 ・ 体	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	<input type="radio"/>		個々のお子さまの実態に合わせて当施設で実際に使用している材料をご準備します。また、事前に訪問施設との話し合いを行い必要に合わせて環境を整えています。	今後も適切な環境配慮が行えるように訪問先と連携を図っていきたいと思います。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		国の基準を遵守しています。		
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		訪問終了後に反省を行い、全体で情報共有を行っています。また、PDCA サイクルを意識して会議を行います。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>				
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>				
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>				
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		研修を定期的に行っています。	定期的な研修を通して施設全体の支援の質向上に今後も務めて参ります。	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	<input type="radio"/>				
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>				
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>				
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	<input type="radio"/>				
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	<input type="radio"/>					

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		訪問終了後に必ず振り返りと保護者様への報告を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			職員間で毎年、個人情報の保護について研修を行い適切な対応が行えるようにしていきたいです。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚的な援助や説明方法を工夫している。特に障害有無に関わらず、外国籍の利用者に対しても翻訳して丁寧に伝えるように配慮しています。	
訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○			

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			今後も身体拘束や虐待についての研修を行い、人権について理解を深めていきながら必要な支援に対して連携を取りながら適切に行っていきたいです。